

予算特別委員会 厚生・産業分科会

◎開催日時 平成 26 年 3 月 11 日（月） 10 時 01 分～14 時 05 分

◎開催場所 第四委員会室

◎説明員 健康福祉部長、病院事業庁長職務代理者および関係職員

◎議事の概要

【健康福祉部および病院事業庁所管分】

1 調査事項

（1）議第 1 号 平成 26 年度滋賀県一般会計予算のうち健康福祉部所管部分について

委員からは、不妊治療に関する助成制度について、県内には、国の制度では対応できない年齢の方々に、不妊治療を受けておられる方が多くおられるので、そうした実態も踏まえて、こうした方々への県独自の支援策について検討されたい、

非常災害用井戸促進事業について、県民の方々に非常災害用の井戸の所在を知っていただくことは、危機管理の観点からも、非常に大事なことなので、市町と意思を共有し、連携を図って、県民の方々がより活用しやすい事業となるように検討されたい、

特定健康診査・特定保健指導事業費について、財源の問題もあるので難しいと思うが、自営業者で組織・運営する国保組合に対する支援策として、全国の状況を十分に精査した上で、県としても財源が確保できる部分については、対応していただきたい、などの意見が出された。

（2）議第 3 号 平成 26 年度滋賀県母子および寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算について

（3）議第 15 号 平成 26 年度滋賀県病院事業会計予算について

委員からは、聴覚・コミュニケーション医療センター構想をはじめとする高度先進医療について、多額の経費がかかることや採算性が悪いことなどを考えると、県民ニーズなどを踏まえた上で、地方自治体の病院経営として、どこかで一線を引く必要があるのではないか、などの意見が出された。



分科会で配付された資料 なし